

練習問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今は昔、比叡の山に見ありけり。僧たち、宵の <sup>a</sup>つれづれに、「いざ、かいもちひせむ。」と言ひけるを、この児、心寄せに聞きけり。さりとて、し出ださむを待ちて <sup>①</sup>寝ざらむも、わるかりなむと思ひて、片方に寄りて、寝たるよしにて、出で来るを待ちけるに、すでにし出だしたるさまにて、ひしめき合ひたり。

この児、定めて <sup>②</sup>おどろかさむずらむ、と待ちみたるに、僧の、「もの申しさぶらはむ。おどろかせたまへ。」と言ふを、うれしと思へども、ただ一度にいらへむも、<sup>③</sup>待ちけるかともぞ思ふとて、今一声呼ばれて <sup>b</sup>いらへむと、<sup>c</sup>念じて寝たるほどに、「や、<sup>④</sup>な起こしたてまつりそ。幼き人は、寝入りたまひにけり。」と言ふ声のしければ、あな <sup>d</sup>わびしと思ひて、今一度起こせかし、と思ひ寝に聞けば、ひしひしと、ただ食ひに食ふ <sup>⑤</sup>音のしければ、すべなくて、<sup>⑥</sup>無期の後に、「えい。」といらへたりければ、<sup>⑧</sup>僧たち笑ふことかぎりなし。

問一 二重傍線部 a と d の語の意味を答えなさい。

問二 傍線部 ① ～ ⑤ の現代語訳として最も適当なものを、それぞれ後から選び、記号で答えなさい。

① 寝ざらむも、悪かりなむ

ア 寝ようとしもないのも、悪い      イ 寝ないのも、悪いだろう  
ウ 寝ないのも、よくないだろう      エ 寝ないのも、みつともなかった

② おどろかさむずらむ

ア きつと驚かそうとするだろう      イ 絶対に驚かそうとはしない  
ウ 絶対に起こそうとはしないだろう      エ きつと起こそうとするだろう

③ 待ちけるかともぞ思ふ

ア きつと待っていたと思う      イ 待っていたのかと思うと困る  
ウ 待っていたかと思われる      エ 待っていたのをよいと思う

④ な起こしたてまつりそ

ア お起こし申し上げるな      イ 起こして差し上げよう  
ウ 起こしてはいけない      エ お起こしするな

⑤ 音のしければ

ア 音がして      イ 音がしたら  
ウ 音がするまで      エ 音がしたので

問三 傍線部⑥「無期」の間に生じた児の心の葛藤として明らかに誤っているものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ぼたもちにありつけないかもしれない

イ 寝たふりがあだになったかなあ

ウ このままだと起きる機会を逸してしまう

エ 僧たちになんて言い訳しようか

問四 傍線部⑦「僧たち笑ふこと限りなし」について、

(1) その理由として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号をで答えなさい。

ア 児が、せつば詰まって間の抜けた返事をしたから。

イ 児が、熟睡したまま寝言を言ったから。

ウ 児が、やむなく僧たちにお詫びを言ったから。

エ 児が、なかなか起こしてくれない僧たちに怒ったから。

(2) またそれはどのような「笑い」か。最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 児をばかにした嘲笑。

イ 児をかわいと思う哄笑。

ウ 児をにくらしいとおもう苦笑。

エ 児の子どもらしさを笑う微笑。